

2021.4.15 (木)
第30回例会
(通算3624回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「Together! 次世代へ共に築こうロータリー！」

第84代会長 舟木 博
副会長 土橋 賢一
幹事 荒井 剛
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2020-2021 年度
国際ロータリーテーマ



ロータリーは世界の扉を開く
2020-2021 年度
RI 会長 ホルガー・クナーク
第2500地区ガバナー
松田 英郎 (富良野 RC)

月間テーマ	母子の健康月間
本日のプログラム	「地区研修・協議会に参加して」(担当：次年度理事)
次週例会	会員卓話「釧路駅開業 120 周年を迎えて」(担当：プログラム委員会)

■ロータリーソング：「我等の生業」 ■ソングリーダー：吉岡 央君

■会員数 96 名

■ビジター なし

■ゲスト なし

会長の時間

土橋 賢一副会長



皆さん、こんにちは。どうぞお食事をお続けください。本日は日曜日にオンラインで行われた地区研修協議会について、次年度の理事・

委員長の方々がこれから発表していただけることになっています。私はここに立っているのが恥ずかしいのですが、次年度の皆さんは流暢な日本語でお話してくれることと思いますので、どうぞ皆さん安心してお話を聞いていただきたいと思います。本日はよろしく願いいたします。

幹事報告 荒井 剛幹事

幹事報告は1点です。後ろにある受け箱に『ロータリーの友4月号』が入っております。お受け取りになられていない方は、お受け取りになっていただければと思います。以上です。

■本日のプログラム■
地区研修・協議会に参加して

市橋多佳丞次年度幹事予定者

皆さま、改めましてこんにちは。次年度の幹事を仰

せつかっております市橋と申します。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

先日、地区研修協議会が開催されました。

今までは『P E T S』と『地区研修協議会』を1日で開催されていたものが、最近は2日間に分けています。まず次年度に関して2月28日にZOOMで『P E T S』が開催されました。これは事務局にてZOOMで杉村会長エレクト、私、青山事務局員の3名で参加させていただきました。

先週の日曜日には、『地区研修協議会』がZOOMで開催されました。こちらは分科会などのからみで2日間に分けて、日曜日には午前中に本会議、午後からは第1から第5までの分科会。そして今週の月曜日に第6、第7の分科会が開催されております。

地区研修協議会は登録ベースで26名と大勢の皆さま方にご参加いただきましたことを心より感謝を申し上げます。また2500地区からは小船井パストガバナー、吉田パストガバナー、そして委員長で出向される荒井委員長、委員の木下さん等々が2500地区の立場で頑張っていましたことをご報告申し上げます。

これからは、当日参加いただきました皆さまにスピーチをいただきますけども、おひとり5分から3分程度



の時間でスピーチいただければと思っております。
ZOOM 開催で、道中のお話とかを皆さまにご提示できないのが残念ですが、研修協議会を受けて来年への意気込みをお話いただければと思います。
まず、トップバッターとして杉村会長エレクト、よろしくお願い申し上げます。

杉村 莊平会長エレクト



皆さん、こんにちは。なるべく流暢な日本語でお話をしようとは思っております。ここに立つ会長のあるべき姿として、僕は暗記するのがいいのか、見た方がいいのか、迷いに迷って少し暗記したつもりですが、たぶん途中で駄目になると思いますから、ご容赦いただければと思います。

4月11日、12日、地区研修協議会が開催され、そのご報告をさせていただきます。

今、話がありましたけれども、僕のカウントでは全体で32名、青島さんを入れて33名のたくさんのご出席をいただいております。ありがとうございました。例年ですと、旭川や帯広にみんなで車を乗り合わせて楽しく出発して、夜は釧路ナイトで大いに結束を図るのが地区研修協議会の大きなところなのですが、残念ながら2年連続でZOOM開催となってしまいました。そういっても僕のわがままで、このホテルにみんなで集まりながらスクリーンを見て、少しでも一体感を持ちながら次年度に進みたいということで、集まれる方には集まっていたの開催とさせていただきました。

当日は、市橋幹事、田内、得地両副幹事の設営の下、ここに2台の大型のスクリーンを設置していただきました。また、椅子もスクリーン形式でコロナの準備も万全に整えて、みんなで画面を見る形をとりました。本当に快適に見られました。逆に例年と違って、まったく外に行く所がないものですから、朝の9時半から分科会の終わる4時45分までこもりっきりで、みんなで多少ストレスを抱えながらもスクリーンをじっくり見る図式で頑張らせていただきました。

特に佐藤委員長には、「今日は子どもの野球の送り迎えがあって3時間しか睡眠を取っていない」という中で、朝に集合して8時間も睡魔と戦って頑張っていたので、感謝を申し上げている次第でございます。改めて参加いただいた方、関わっていただいた方、に御礼申し上げたいと思います。ありがとうございました。内容です。ここからは自信がないところですが、次年度のRI会長、シェカール・メーター会長は『奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために』というテーマ

を掲げていただきまして、「奉仕とは、自分が地上の空間に占める家賃である」と言っていたいております。「丁寧に奉仕することによって、誰かの人生、自分の人生、そして社会を豊かにして行ける」と説明されておりました。また、今120万人ほどいる全世界のロータリーメンバーを、「Each One, Bring One」という言葉を使って「みんなが1人のメンバーを増やすことによって、130万人にチャレンジしよう」とお話されておりました。

続きまして、次年度の漆崎ガバナーは、テーマで『ロータリーの素晴らしさを広めましょう』というガバナー方針を出していただいて、「親睦と持続可能な奉仕の推進」を地区方針に掲げていただいております。

二人ともシンプルな分かりやすい、ロータリーの原点である『奉仕』を前面に押し出したテーマですから、僕もとても共感を持ちながら僕の方針とすぐく共通点があると聞かせていただきました。

続きましての本会議で、地区規則手続き委員会の小船井委員長からお話がありました。前回、釧路の例会でもお話があったと思います『DEI』。「多様性・公平性・開放性がこれからのロータリーは大事だ」ということです。「ロータリーも会員の男女比率、例会に呼ぶ講師の男女比率も重要視して行きます。もっと言ったら、これからガバナーの資格要件も削除していったら、基本的にはどういうメンバーでもガバナーに立候補できる仕組みを取って行きます。とにかく、より先進的な考えをこれからRIは持って行きます。そういうことでクラブもしっかりと考えていってください」と話されておりました。

続きまして、地区研修委員長の足立パストガバナーが『ロータリー 直面する課題とその将来像』というテーマで話をされました。お話を聞いていますと「アメリカの大都市のクラブでは600名位いたクラブが20人しかメンバーがいなくなったクラブが多数出ている。それに伴って、いいのかわいなのか、いろんなクラブを存続させるために、いろんな形のロータリーの存続のさせ方が考えられている。何とかクラブ、何とかクラブ、何とかクラブとかと、出席しなくてもいいくらいのクラブがどんどん出てきている。ということで、ロータリーが直面している課題はいろいろあります」という話をされておりました。

近い将来、日本でもロータリーのあり方について考えて行かなければならない時が来るだろうと考えさせられました。

続いて、分科会については、これからたくさんの方に発表していただきますので割愛させていただいて、まとめに入りたいと思います。

去年の4月には僕も、4月くらいになればワクチンもできて、今年度が始まるまでにはコロナも少し収まって、通常に近い例会運営ができるだろうと思って

おりました。どうやらそういう感じでもなさそうで、僕の年度もロータリーは「コロナとにらめっこ状態」が続くような感じであります。

そうはいっても、このコロナからロータリーがどういう風に離陸して行くのか、どういうふうに出発して行けるのか、が問われるのが次年度なのだろうと思っています。たいへん大事な年度だと自覚させていただいております。

僕の思うロータリーの第一歩目は、「ちょっと忙しくなってきたけど今日の例会、どうしようかな」と思った時に「無理してでもみんなの顔を見に行ってみよう」と思えるかとどうか本本当にロータリーの第一歩目なのだろうなと思います。改めて次年度は原点に戻って「今日、例会に来ただけ楽しかったな」「やっぱりロータリーはいいな」と思ってもらえるような、ロータリーの第一歩目を実感できる1年にしたいと思っています。

ということで、何とか無事に暗記のまま終わらせていただきました。とにかく2日間ありがとうございました。今年度はまだ終わっていないですが、次年度もぜひ協力いただきながら頑張っていきたいと思えます。よろしくお願いいたします。

滝越 康雄会長ノミニー

こんにちは。

ちょっと手違いというか、今日は最初に真打が出ちゃいました。私もスピーチを用意して来たけれども、話の枠も3つ4つ書いたのですが2つがボツ、重なっていて喋ることあまりないのです。

私の参加目的は次々年度の資料確保ということで。来年度は理事さんが若くて年代層が違い過ぎて老害だとは分かりきっているのですが、少し立ち遅れたような感じで参加してきました。

遠慮もあって一番隅の方で参加して、タブレットで撮影したのです。が、後で見たら席が一番後ろだったから、全部に市橋幹事予定者と甲賀委員長の輪郭が入っていて、しかも下の部分は大事な詳細なのです。何回も撮り直したのだけれど、全部に入っているのです。そういう取材をしました。

その後、これは浅川副会長予定者の戦略なのですけども、そっと来て、気付いたら目の前に立っているのです。前も、委員長の時もそうだったのですが中国の潜水艦のごとく、気付いたら目の前にいて「15日は空いていますか」と、「ええ、いますよ」と言ったら「スピーチ、決まり」で逃げる。なんとこの人の戦略はすごいのですよ。本当に「いつ来たの」という感じで、「来



るな」と思ったら、こっちは予防線を張るのですが、2・3回の体験ありますので皆さんご認識のほど。中身はロータリー活動の基本や地区テーマの確認でして、いつもと違うなと思ったのはR I 会長のスピーチは英会話の練習、なるべく字幕を見ないで解釈できるかな。インドの方で少し早口で、何か無理だったのです。いろんな資料を持ち帰って見たらカタカナだらけで、依然として変わらないシステム。要は「地区ではR I から来た物を早く回覧せよ」ということです。『DE I』という言葉が出てきました。ホーマックの「あれかな」と思って。DE I とは多様性、公平さ、開放性。こういうルールは、裏を返せば現実とは逆なのです。多様性がテーマになるということは、あまりにも個性を縛っているな。公平さの逆だから、公平ではないのかな。そういう状態を解放すると言ったら、「解放する」の逆で、密室になっているからこういうテーマが出てくるのであって。こういうテーマや法律でもそうですが、私はへそ曲がりですから裏を見るので、禁止されたらその裏が現実だと解釈します。

それとR I 会長のテーマにすごく「女性」と「若者」が出てくるのです。これは「男を当てにしていない」というのが変わっていますね。しまいには、女性にはっきり門戸を解放しよう。こういう経緯で来ているわけですから、別に拒否はしていないのですけどね。ひどい時には最後にR I のゾーンの会合の講演者、壇上の方ですが「同一のジェンダーでないこと。男を6割以下にせよ」ということで、あとは女性の講師を見つけきなさい。いろんなパーセンテージが出ている、ということはR I の焦り。そろそろ危機になって来ているかなというのが、ザーとの感じです。

ずっと見てきましたが、実感としてロータリーはすごくスマートなのです。この部屋ではスマートだけれど、一歩外に出たらこんな修羅場みたいな世の中になっているので、そのギャップが激しい感じがします。本当に世間はずっと厳しいから「会員を集めれ」と言う、よほど工夫して行かないと。

そして、私も再来年、受けますけども、例えて言うならば、プログラムを組まなければならないのですが技術の得意な人がいないと組めない。そういう面をもう少し考えて工夫していく余地がいっぱいあると思いました。

この後、懇親会あってもあまりお酒は得意じゃないですが、私の年度もジワジワと来てエンジンをかけようと思ってもまだ早いので、ただ、頭の中の意識もしくは行動では月月火水木金土と、毎日をロータリーのことを考えながらいます。ほぼ悩みに近くなってきますので、私の年度は次年度ですけども、次々年度じゃないのでよろしくお願いいたします。以上です。

小野寺 俊奉仕プロジェクト委員長予定者



皆さん、こんにちは。次年度奉仕プロジェクト委員長を仰せつかることになりました小野寺でございます。改めましてよろしくお願いいたします。

ます。

7分区の他のクラブはほぼ個人で、リモートで地区協議会に参加したようですが、杉村エレクトの英断によって「キャッスルホテルの会場に集まって、みんなで参加しましょう」とやっていただいたことに感謝します。たぶん、「個人の自宅・職場でパソコン開いて参加してください」となっていたら、私なんかは不真面目なのでログインはしているけど、その席にはいなかったなと思いました。当日ホテルに行き、メンバーの皆さんと雑談を交えながら参加できたことは良かったなと思います。

奉仕関連の分科会に参加しました。例年のごとく、地区計画書に書いている内容をただ踏襲しているだけで、参加していない方も読んでいただければ次年度の方角性は十分に分かっていると思います。

これを言ったらタブーになるかなと思うのですが、今回の参加で思ったのが、R I 会長のゴージャスでお金が何万ドルもかかっているような演出の基調講演映像が流れたのです。個人的には身内向け・会員向けのメッセージ映像ならば、そんなところにお金をかけるよりも、それを何かの奉仕に使った方がロータリーとして有意義ではないかと思いました。

ああいうのを見ると興ざめかな。われわれの年会費の中からR I に拠出金として払っているのでしょうけども、何かその一部がああいった演出に消費されていると思うと、ちょっと複雑な気分になって。それが今回の地区協議会の主たる感想になってしまいますけども。

われわれ釧路クラブはそういった見栄えだけを、かっこつけをしないで、次年度の杉村年度はきっと実直に進めてくれると思います。

また、それに微力ながら私もご協力して行きたいと思っておりますので今後ともよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

中島 徳政クラブ運営委員長予定者



次年度クラブ運営委員長を仰せつかる予定になっております中島です。私は「出席」と「プログラム」と「親睦」を委員会

が持っている形になるのですが、そのため本会議と第1分科会、月曜日の第6分科会と、2日に亘ってロータリーライフを過ごさせていただきました。

最初に小野寺君の話で気になったのは、そのインドのガバナーの話だったのですが、それも電波の関係なのかクルクル状態が続いて、よく聞き取れず理解できない部分もありました。僕も何となく立派だな、後ろで変わるのもすごいな、と思いながら見ました。

漆崎ガバナーのところもZOOMは会社を利用して配信されていて、止まったりすることもあったのですが何とか2日間、中身を聞きました。

中身に関しては会長エレクトと滝越さんのお話になったように「多様性」という言葉が頭に残りました。

そんな中で話ができしたのは、例えばうちのクラブの『奥さま誕生祝い』はどうなる、と。もしかしたら女性会員が入って、旦那さんがいれば『パートナー誕生祝い』みたいなことも考慮しなければ、という話をしました。会長エレクトは「来年はしないよ」と断言されましたので、そうなるだろうと思います。

プログラムの件や講師の件で一番難しい委員長です。歳は理事の中でも上の方になりましたが、ロータリー歴は甘いので何とか務めさせていただきたいと思っておりますのでご協力お願いします。

エレクトは言わなかったのですが、来年は創立85周年で「こんなことやりたい」と多彩に仰せつかっております。やって行けるかどうか分かりませんが、いろんなところで皆さんにお願いすることが多々出てくると思います。よろしくお願いいたします。以上です。

横田 英喜クラブ会報雑誌委員長予定者



次年度クラブ会報雑誌委員会の委員長を仰せつかりました横田英喜と申します。

地区研修協議会、名前すらはつきり覚えて

いなくて。自分は帯広で地区大会があった時に初めて参加させていただいて、朝一の分科会からの参加だったので朝早く池田かずみさんと一緒に釧路を出て、行く途中はいろいろ話をして楽しかったです。当日の分科会ではどんなことを話すのだろうと思っていたら、「寝ていてもいいからね」と言われて、あまり記憶になかったのが、真面目に受けたのが今回初めてです。名前も含めてうろ覚えもあるので紙を用意させていただきました。

杉村会長エレクトが仰っていた部分で、小船井パストガバナーは当クラブの例会でも「多様性の部分で女性会員を増やす」と仰っていたとおりです。釧路の例会でも自分は副幹事として例会の案内を出していた時の

『奥さま誕生祝い』の件は影響してくると思っていたので、同じような思いを持っていた中島委員長に共感しました。

今回の分科会については、月曜日の夜6時から7時半まででしたので、自分は仕事の出張先で聞いていたのです。そこでは荒井幹事と木下パスト会長がパネリストとして参加されていて、木下さんはいつもどおりの生き生きした回答をしていて元気そうだなと思っていました。ZOOMで開催だったので荒井さんがお疲れの感じだったので大丈夫かなと。顔色も良くないなと思いつつ、カメラを見てニコニコするのもどうかと思って、心配しながら聞いていました。

分科会の中で荒井さんが、「例会を休まずに出席するにはどうしたらいいか。休眠会員を減らすにはどうしたらいいか」を話された時に、『釧路の情報集会』の話をして、「釧路は歴史と伝統がある中で、情報集会は休眠会員をなくす方向でも意味がある」ことを紹介されていて、それを実行している他のクラブもあったことを理解できて、釧路クラブは素晴らしいなと実感させていただいたところです。

日曜日、このホテルでの参加の時も、自分は打ち合わせを含めて、釧路ナイト、懇親会にあたる打ち上げに参加したいのですが、やっぱり顔合わせて食事して、真っ赤になって話をするのが親睦を深める意味で一番良いなと思いました。情報集会を含めて手を振って参加できる時期が早く来れば良いなと思いつつこの研修会に参加させていただきました。以上となります。ありがとうございます。

瀧波 大亮親睦活動委員長予定者

はじめましての方もいらっしゃると思うのですが、次年度親睦活動委員会委員長をやらせていただくことになりました滝波と申します。自



他共に認める不良会員でしたが、心を入れ替えて頑張ろうと思いますので、ご指導・ご鞭撻をどうぞよろしくお願いいたします。時間もだいぶ押し迫ってきましたのでなるべく短めに行きたいと思います。

皆さま、お話のとおり日曜日と月曜日の分科会に参加させていただきました。月曜日は事務局にて他のメンバーとともにディスカッションを聞かせていただきました。

第6分科会のテーマは「あなたにとってロータリーとは。そして、その目的とは」ということと、もう一つは「例会に毎回出席することの重要性」というふたつのテーマでした。

今回が初めてZOOM会議ということで、ZOOM会議

の中でR L I (ロータリー・リーダーシップ研究会)の方式を取り入れてディスカッション形式で行ったのですが、ディスカッションリーダーの旭川西の廣岡さんが話を振るのがとても上手で、それに引き付けられるように他の5名のパネリストが話をする感じで、まったくZOOM感がない、まさにリアルタイムでその場で聞いているような、まるで田原総一郎の深夜の番組を見ているような臨場感を感じました。そのような中でふたつのテーマですが、「例会に休まず出席することの重要性」では、どなたかが「コロナ前であれば毎週当たり前のように例会に参加して、そこで仲間たちの顔を見ることができた。このコロナになっての1年間は例会が開けない期間も長くあり、今まで当たり前のように会っていたメンバーにどうして会えないのだろう。あいつは元気かなと、とてもとても気になって仕方がなかった」と、心境を話されました。

ここまでの心境になれるのが、例会に休まず出席した成果なのかなと思っています。私も休みがち、全く出席していない時期が長く続きましたので、ここまでの境地に至っていないのですが、ロータリーの根本の奉仕と親睦をきちんと体現するためにも、まず自分自身がその心境になれるくらい例会に出席するとともに、次年度は親睦活動委員会で1人でも多くのメンバーの皆さまがそのような気持ちになれるような設えを、と思っております。

分からないことばかりですが1年間よろしくお願ひいたします。以上です。

佐藤 貴之青少年委員長予定者

皆さん、こんにちは。次年度青少年委員長を仰せつかりました佐藤でございます。時間もそんなにありませんので手短



私は青少年なので第3分科会に出席させていただきました。そこで、地区の担当に荒井さんが危機管理委員長で、クラブのパワハラ、セクハラ、モラハラ、そういう弁護士さんにふさわしい委員長をやっていました。

先ほど杉村さんも言っていましたが、私は朝早く子供の野球の送り迎えがありまして、非常につらいウェブ、薄暗い中でしたから、ちょっと聞き逃すかなと思っていましたが、画面に荒井さんが出た途端に目が覚めまして、しっかり聞いておりました。次回もきちんと聞いて、聞き逃さないように出席したいと思います。皆さん、どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

市橋多佳丞次年度幹事予定者

佐藤委員長予定者、ありがとうございました。
本日、発表いただきました皆さま、誠にありがとうございました。
以上をもちまして『地区研修協議会に参加して』というテーマでのスピーチを終了させていただきます。ありがとうございました。

本日のニコニコ献金

■得地 哉君 2週間前になりますが。またもや、北海道新聞釧路版で取り上げて頂きました。
ありがとうございます。

今年度累計 444,000 円